



【報道関係者様】

2026年6月4日

日本公開天文台協会 会長

竹内 幹蔵

「星空と人をつないで 一世紀」公開天文台 100 周年記念事業  
『公開天文台 100 年史』の公開および Web 版リリースのお知らせ

日本公開天文台協会(以下、JAPOS、注 1)は、2026 年 11 月 21 日に日本の公開天文台が 100 周年を迎えること(注 2)を記念する「公開天文台 100 周年記念事業」の一環として進めてまいりました『公開天文台 100 年史』の編纂を完了し、2026 年 6 月 4 日より一般公開するとともに、Web 版をリリースいたしました。報道機関の皆様には、この公開天文台 100 周年及び各記念事業につきまして、ぜひ報道をお願いいたしたく、お知らせ申し上げます。なお、記念事業のうち大きなイベントや、新たに実施を決定したイベントにつきましては、その都度改めてお知らせいたします。

- 『公開天文台 100 年史』ダウンロード先  
[https://koukaitenmondai.jp/document/wp-content/uploads/2026/05/japos\\_sawada\\_15\\_15-28-1.pdf](https://koukaitenmondai.jp/document/wp-content/uploads/2026/05/japos_sawada_15_15-28-1.pdf)
- 『公開天文台 100 年史』Web 版  
<https://www.koukaitenmondai.jp/100th/history/index.html>

■ 『公開天文台 100 年史』の概要と意義

1926 年 11 月 21 日、倉敷天文台が日本で最初の公開天文台として設立されて以来、全国各地に公開天文台が設置され、天文学の普及や地域における科学・天文教育の拠点として機能してまいりました。本資料は、JAPOS の「公開天文台 100 周年調査・編纂ワーキンググループ」が中心となり、日本の公開天文台の 100 年の歩みをまとめた資料です。

本資料では、公開天文台の歴史的変遷が社会情勢と密接に関わってきたことが記録されています。1980 年代の「ふるさと創生事業」等を契機とした施設の設置ラッシュと望遠鏡の大型化の時代を経て、近年は市町村合併や指定管理者制度の導入による設置・運営主体の変更が生じております。

さらに、現代においては施設の休止や廃止といった厳しい事態も発生しております。専門職員の不在や運営形態の変化がもたらす影響については、課題が指摘されています。公開天文台の価値と存在意義が改めて問われる現在において、本資料はこれまでの歩みを総括し、今後の公開天文台のあり方を検討するための重要な学術的・歴史的基盤となるものです。

なお、本史料は今回の公開で完結するものではなく、今後も継続的な調査を行い、新たな知見や情報の追加を反映させた「増補改訂版」の公開を視野に入れております。

報道機関の皆様には、この『公開天文台 100 年史』の公開および 100 周年記念事業につきまして、ぜひ報道をお願いいたしたく、お知らせ申し上げます。

■ その他の主な記念事業(進行中)

● 100 周年記念イベント「くらしき天文台 公開デー」の開催

日本初の公開天文台である倉敷天文台において、100 周年を記念したイベント「くらしき天文台 公開デー」を 2026 年 6 月 28 日に開催します。本イベントは、翌日より開催される「JAPOS 第 20 回全国大会(岡山大会)」(2026 年 6 月 29 日から 7 月 1 日)の関連イベントとして実施します。

● 公開天文台 100 周年記念イベント「全国一斉観察会」

100 周年の記念日となる 2026 年 11 月 21 日(土)に、全国の公開天文台を中心に天体観察会を実施いたします。

● ほしぞら総選挙

一般の方々を対象に広く投票を募る「第 2 回ほしぞら総選挙」を開催中です。

● みんなで見よう！ メシエ天体 / 「今、天文台にいます」掲示板

全国の施設でメシエ天体をテーマとした観望会を開催するとともに、来館者同士が自由に交流できるインターネット掲示板を設置・運用しております。

[注 1:日本公開天文台協会(JAPOS)について]

日本公開天文台協会(Japan Public Observatory Society、略称:JAPOS(ジャポス))は、本物の天体を通して自然観を養い、心豊かな人格形成に資するための生涯学習支援に取り組む公開天文台の発展を目的として、2005 年に設立されました(前身の「全国の天体観測施設の会」の発足は 1992 年)。現在は施設会員 135 施設、個人・準会員(施設会員の職員や天文学・天体観測施設等に関心のある個人)約 160 名、賛助会員(JAPOS の事業を援助する個人・団体)10 数社で活動しています(2025 年 6 月時点)。詳細は、JAPOS のウェブページをご覧ください。HP:<https://www.koukaitenmondai.jp/>

[注 2:公開天文台 100 周年について]

日本における公開天文台(一般市民への公開を主な目的とした天文台)は、1926 年 11 月 21 日に設立された倉敷天文台(岡山県倉敷市)が始まりであり、2026 年に 100 周年を迎えます。倉敷天文台は、地元の原澄治(倉敷紡績専務)の私財により設立された民間の天文台で、現在も公益財団法人として活動を続けています。詳細は、倉敷天文台のウェブページをご覧ください。HP:<http://kuratzen.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

日本公開天文台協会 事務局 公開天文台 100 周年担当

住所：兵庫県姫路市青山 1470-15 電話番号：079-267-3001(姫路科学館の開館時間内)

Email:staff@koukaitenmondai.jp

【参考】

- 日本公開天文台協会 公開天文台 100 周年特設サイト  
URL：<https://www.koukaitenmondai.jp/100th/count.html>
- 別紙1 事業のスケジュール



【別紙1 スケジュール】

下記スケジュールは現在決まっている事業や天文現象について記載しております。新たに実施を決定したイベントにつきましては、その都度改めてお知らせいたします。

2025 年 11 月 21 日	公開天文台 100 周年事業開始 記念イベント実施 「ほしぞら総選挙 第 1 回」結果発表 「今、天文台にいます」掲示板の設置
2026 年 3 月 3 日	皆既月食
2026 年 6 月 18 日 - 27 日	IPS2026 FUKUOKA
2026 年 6 月 28 日	倉敷天文台公開デー
2026 年 6 月 29 日 - 7 月 1 日	JAPOS 第 20 回全国大会(倉敷科学センター)
2026 年 8 月 13 日	ペルセウス座流星群 極大
2026 年 11 月 21 日	公開天文台 100 周年記念イベント
2026 年 12 月 14 日	ふたご座流星群 極大
2027 年 3 月 31 日	公開天文台 100 周年事業終了